科目区分・分類	一般・講義	対象学科名・学年	電子情報4年	科目コード	47001240
科目名	倫理学　Ethics				
担当教員	中村　博雄				
単位数（時間数）	必修　通年　2単位　（60時間）	学習・教育目標との対応	(B-1)(B-2)		
授業の目的と概要	「優れた技術者は優れた人間でなければならない」というときの「優れた人間」とはどのような人間なのかを学ぶ．各種倫理規定・行動憲章等の趣旨とその哲学的・倫理学的根拠を学ぶ．技術者倫理に関わる様々な事故・事件・社会問題の倫理学的分析をとおし，科学技術が社会や自然環境に及ぼす影響，技術者に求められる社会的責任について倫理的に考え，仲間と議論し，自分の考えを論述できるようにする．				
先修科目					
後修科目					
備考	日頃から，科学技術が社会や自然環境に及ぼす影響に関心をもち，様々な事故・事件・社会問題の根本にある倫理的問題（「人間とは何か？」「人間はいかに生きるべきか？」「技術者の責任とは何か？」等）について追究する探究心が必要である．				

	授業項目	時間	内容
1	技術者（工学）倫理の必要性について	2	現代において技術者倫理・工学倫理の学習が必要とされる理由を具体例をもとに説明できる．
2	「人間とは何か？」について		「人間とは何か？」の根本問題の存在とその所在を理解し，その哲学的本質を説明できる．
3	(1) 人間存在の本質について	2	「人間の尊厳」「個人の尊重」「他者の尊重」の意味およびその哲学的根拠を説明できる．
4	(2) 人間の「生」について	2	「人生とは何か？」「生きる」「よく生きる」「よりよく生きる」ということの意味を理解し，説明できる．
5	人間社会について		「人間社会」を根底から支える哲学的・倫理学的根拠を理解し，説明できる．
6	(1) 現代社会の基本原理について	2	法（法律）と倫理（道徳）の本質について理解し，説明できる．
7	(2) 法（法律）と倫理の関係について	2	法（法律）と倫理（道徳）の違い・接点・関係について理解し，説明できる．
8	「優れた技術者」について		社会における技術者の役割と責任の意味，そして「優れた技術者」とはどのような技術者なのかを倫理学的に説明できる．
9	(1) 技術者の責任とは？	2	「技術者の社会的責任」について哲学的・倫理学的根拠を理解し，説明できる．
10	主な学協会の倫理規定について		主な学協会・行動憲章等の前文・条文の根本思想を理解し，その倫理学的根拠を説明できる．
11	(1)「技術士倫理要綱」について	2	日本技術士会「技術士倫理綱領」の前文・条文の根本思想を理解し，その倫理学的根拠を説明できる．
12	(2)「NSPE倫理規定」について	2	アメリカの技術者倫理規定（ＮＳＰＥ）の前文・条文の根本思想を理解し，その倫理学的根拠を説明できる．
13	(3) 経団連「企業行動憲章」について	2	経団連「企業行動憲章」の前文・条文の根本思想を理解し，その倫理学的根拠を説明できる．
14	技術者倫理に関係する典型的な事例の考察		ビデオ教材をとおして，社会における技術者の責任と誇りを学び，具体的に自分の将来について深く考えることができる．
15	(1) 環境に関する問題等	2	「環境倫理の3原則」の哲学的・倫理学的根拠を理解し，説明できる．
16	(2) PL法に関する事件等	2	ＰＬ法の哲学的・倫理学的根拠を理解し，説明できる．
17	(3) 知的財産権に関する事件等	2	知的財産権の哲学的・倫理学的根拠を理解し，説明できる．
18	社会における技術者の役割・誇り・責任	4	社会における技術者の責任と誇りの倫理学的意義を理解し，具体的に自分の将来に重ねて深く考えることができる．
19	(1) 技術者の責任	2	「優れた技術者は優れた人間でなければならない」というときの「優れた人間」について哲学的・倫理学的に理解し，説明できる．
20	(2) ＣＳＲの意義	2	「企業のあるべき姿」とはどのようなものか哲学的・倫理学的に理解し，説明できる．

前期期末試験			
21	事例研究について		3〜5人のグループを編成し，科学技術や企業活動等に関する事件・事故の事例を取り上げて倫理学的観点から考察する．
22	（1）研究の基本方針とグループ分け	4	研究発表をおこなう意義を理解し，グループ編成をとおして仲間と一緒に問題を検討し，考察を深めることができる．
23	（2）各グループの課題検討	2	テーマを絞り込み役割分担を決めて共同研究を進める．
24	事例研究発表	22	事例研究の成果を協力して口頭発表し（1グループ30〜40分），質問や意見に答えることができる．
25	総括		技術者倫理・職業倫理・企業倫理・環境倫理の根本を総括する．

学習・教育目標を達成するために身に付けるべき内容	「倫理」について理解し，人間存在の特徴とその人間が営む科学技術が社会において果たす役割や自然環境に与える影響について倫理的観点から説明できること．法律や各種倫理規定の根底にある倫理的根拠を理解し，人間社会および自然環境に対して技術者に求められている責任と役割を説明できること．以上の内容をとおして学習・教育目標（B-1）及び（B-2）の達成を評価する．
成績評価	技術者倫理（B-1）及び（B-2）の基礎に関する筆記試験（50%）と事例研究の発表（10%）およびレポート（40%）によって総合的に評価し（100点），60点以上を合格とする．
教材	教科書：指定しない．適宜，プリントを配布する． 参考書：斎藤ほか『はじめての工学倫理』昭和堂，2014．ＮＳＰＥ倫理審査委員会編『科学技術者倫理の事例と考察』丸善，2002．日本技術士会訳編『科学技術者の倫理』丸善，2003．中村博雄ほか編『理性と平和』新典社，2012．中村博雄ほか編『技術と空想』新典社，2014．
オフィスアワー	水曜日14:30〜16:00．福利施設2F．面談希望の場合は，伝言メモ（研究室ドア横）やメール（hiroo@nagano-nct.ac.jp）での事前連絡によって時間調整する．